

早水洋太郎先生 研究業績目録

論 文

「小説の冒頭に使われる技巧の分析—バルザックの場合—」	『フランス語フランス文学研究』	1968
「『マノン・レスコー』について（『不思議の国のアリス』と『ねじの回転』との比較による物語の構造の研究）」	『京都大学文学部フランス文学研究のⅡ』	1972
「小説における幻想的空間の設定について—『雪国』『少年』『三四郎』—」	『愛知県立大学十周年記念論文集』	1975
「バルザックの小説におけるものと意味—コノテーションについて—」	『本学紀要（言語・文学編）』	1977
「バルザック作『老娘』について—風俗小説を読む—」	『本学紀要（言語・文学編）』	1983
「精神について—モンテーニュ—」	『精神医学と哲学』金剛出版	1993
「『ゴリオ爺さん』について—三人称写実主義小説を書く工夫—」	『本学紀要（言語・文学編）』	1997
「バルザックの経済小説を読む—「人間喜劇」における破産『セザール・ビロトー』—」	『本学紀要（言語・文学編）』	1999
「バルザックの経済小説を読む—『ウジェニー・グランデ』—」	『バルザック生誕200年記念論文集』駿河台出版	1999
「バルザックの経済小説を読む(2)—『ウジェニー・グランデ』詳説—」	『本学紀要（言語・文学編）』	2000
Lire le roman balzaciens sur les activités économiques—Eugénie Grandet—	『Equinoxe』	2001
新聞人バルザック：「パリ便り」	『バルザックと周辺領域における文化史的背景の研究』	2002

翻 訳

ラプランシュ／ポンタリス著『精神分析用語辞典』（共訳）	みすず書房	1977
ジャック・ラカン著「1956年における精神分析家の養成」	弘文堂	1977
ジャン＝マリー・ブノワ著『構造革命』（共訳）	みすず書房	1984
アンリ・エー編『無意識』第2巻『無意識と言語』	金剛出版	1986
S. フォラン著『無意識つまり自分でありながら自分でないもの』（共訳）	アンリ・エー編『無意識』第4巻所収 金剛出版	1987
J. スタロバンスキイ著『モンテーニュは動く』	みすず書房	1993

所属学会

日本フランス語フランス文学会